

Q1 変形性膝関節症と診断されました。手術など受けず治すことは可能でしょうか？

診察しなければわかりませんが、骨や軟骨の変形・変性の程度が軽ければ、リハビリテーションや再生医療という選択肢もあります。再生医療では強力な抗炎症作用で痛みを抑えることができ、ご自身の細胞を使うので安心です。しかし、変形・変性が進行しており、かつ痛みが強い場合にはやはり手術が適応となります。

Q2 膝治療をしていますが、痛みが段々強くなり注射をしてもしばらくすると痛みます。このまま同じ治療を続けていても大丈夫でしょうか？

変形性膝関節症の初期段階ではヒアルロン酸注射は効果がある方が多いですが、進行もしくは軟骨の下の骨が壊死する病態に至ると注射の効果はなくなり、痛みが増すことが多いです。

特に骨壊死の病態は安静時の痛みが特徴的なので、漫然と治療されず、まずは精密検査もしくは膝専門医の診断を受けることをおすすめします。

Q3 膝の違和感、曲げる時に痛みを感じます。受診したほうがいいでしょうか？

変形性膝関節症の治療はまずはリハビリと対症療法を行われることが多いです。

通常8割の方が、その治療で症状軽快します。しかし、残りの2割の方は症状が長引き、症状が進むことがあります。お近くの整形外科クリニック等で3~6ヶ月程度の治療を行っても改善がみられないようであれば、膝専門医を受診し精密検査を受けられることをおすすめします。

Q4 入院期間と、退院後のリハビリ等に必要な通院頻度はどれくらい必要ですか？

入院期間に関しては病院によりますが、筋力のある方は2週間程度で松葉杖歩行退院、リハビリをしっかりとやられる方は4~5週間の入院リハビリ(回復期リハビリテーションへ転院)後、杖または独歩での退院となります。通院も経過によりますが、1週から1か月毎の通院で骨の癒合が得られる3か月程度継続していただいています。

骨切り術はO脚の程度によって、方法も多岐にわたり、また経過も個人差が大きい手術ですので、一般的な期間になります。

Q5 骨切り術の手術費用はどれくらいでしょうか？

本邦では保険適用となり、高額療養費制度の対象となります。年齢や収入に応じて自己負担額は異なりますが、通常の骨切り術で3割負担40万程度です。

Q6 再生医療（PRP-FD）治療費について教えてください。

当院でPRP-FD治療をご希望の場合、

①・初診：3,300円

・MRI+レントゲン：16,500円

・2回接種分：396,000円

②・PRP注入の時は再診料1,100円（2回注入であれば×2）

ご受診をご希望の際は自費診療となりますので、まずはご相談として大澤医師または藤間医師の診察を保険診療でご受診いただくことをおすすめします。